

# 三重県リハビリテーション科専門研修プログラム 概要資料

2020.8.21 文責 藤田医科大学七栗記念病院 園田 茂

三重県リハビリテーション科専門研修プログラムは、新専門医制度でリハビリテーション科専門医になるための2018年度75プログラム、2019年度78プログラムのうちのひとつです。2020年度から三重県キャリア形成プログラムのひとつとして加わり、三重県修学資金貸与者にも対応可能となりました。

## ➤ 専攻医の受け入れ上限数、専攻医数

上限: 6名 (日本リハ医学会による上限設定。三重県はリハのシーリング無し)

専攻医数: 1名 (2020.4開始) 七栗記念病院では他プログラムの専攻医を別に4名預かり中

## ➤ 到達目標

1) 医師として必要な基本的診療能力(コアコンピテンシー)の習得。2) リハビリテーション科領域の専門的診療能力の習得。3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェSSIONALとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせるリハビリテーション科専門医となる。

## ➤ プログラムの特徴

基幹施設での研修と連携施設での研修を合わせ、(1)脳血管障害、外傷性脳損傷など (2)脊髄損傷、脊髄疾患 (3)骨関節疾患、骨折 (4)小児疾患 (5)神経筋疾患 (6)切断 (7)内部障害 (8)その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患などの8領域を学びます。

本プログラムの基幹施設は急性期の大病院ではなく、回復期リハビリテーション病棟主体の病院のため、主治医での経験症例が豊富です。三重県全域をカバーするリハビリテーション科研修プログラムを目指し、三重県の全リハビリテーション研修施設、三重県の地域医療に貢献する多くの施設に加わって貰っています。そのため地域医療への取り組みも十分経験できます。さらに切断、小児患者等、症例のバラエティを担保するために愛知県の施設とも連携を組み、万全を期しています。

同時に社会人大学院に入学し、専門医と並行して学位を取得することも想定しています。

## ➤ 学術活動

プログラム冊子には「専攻医は、院内での研修だけでなく、院外活動として、学会・研修会への参加などを通して自らも専門知識・技能の習得」と記載しています。臨床的研究成果を発表し、論文

化することも奨励されます。リハビリテーション科専門医資格を得るには「本医学会における主演者の学会抄録 2 篇を有すること。2 篇のうち 1 篇は、本医学会地方会での発表でも可。」を満たす必要があります。

➤ ローテーション例

例 1 (三重県ローテ): 藤田医科大学七栗記念病院 (12 ヶ月) → 松阪中央総合病院リハビリテーション科 (3 ヶ月) → 三重県立子ども心身発達医療センター (3 ヶ月) → 市立伊勢総合病院 (3 ヶ月) → 済生会明和病院 (6 ヶ月) → 藤田医科大学七栗記念病院 (9 ヶ月)

例 2 (県跨ぎローテ): 藤田医科大学七栗記念病院 (12 ヶ月) → 刈谷豊田総合病院 (6 ヶ月) → 藤田医科大学病院リハビリテーション科 (6 ヶ月) → 国立長寿医療研究センター (6 ヶ月) → 藤田医科大学七栗記念病院 (6 ヶ月)

➤ 連携病院群一覧等

基幹施設：藤田医科大学七栗記念病院 (回復期リハ病棟あり)

連携施設	急性期	回復期	生活期	小児
・ 済生会明和病院リハビリテーション科		○	○	
・ 三重県立子ども心身発達医療センター				○
・ 藤田医科大学病院リハビリテーション科	○	○	○	○
・ 藤田医科大学坂文種報徳會病院	○			
・ 中部労災病院リハビリテーション科	○	○		
・ 国立長寿医療研究センター	○	○		
・ 刈谷豊田総合病院リハビリテーション科	○	○	○	○
・ 船橋市立リハビリテーション病院		○		
・ 輝山会総合リハビリテーションセンター	○	○	○	

関連施設

・ 三重大学医学部附属病院	○			
・ 三重県身体障害者総合福祉センター			○	
・ 市立伊勢総合病院	○	○	○	
・ 花の丘病院		○	○	
・ 松阪中央総合病院リハビリテーション科	○			

➤ コンタクト先

藤田医科大学七栗記念病院 059-252-1555 リハビリテーション医学Ⅱ講座  
園田 茂 doctor.sonoda@nifty.ne.jp